

SELEN

SDR-S10

SD カードレコーダーセット

取扱説明書

このたびは、SDカードレコーダーセット【SDR-S10】をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

本製品の主な特長

- 映像の動きを検知して録画する「動体検知レコーダー」
- SD カードに録画するカンタン監視カメラシステムセット
- リモコンで離れた場所からラクラク操作
- 録音機能付き
- 小型カメラと接続ケーブル (20m) が付属
- カメラは周囲の明るさに応じ赤外線LED が自動点灯
- ワンタッチで取付けができるクリップ式取付金具と天井や壁面に取付けができるスタンド式取付金具を付属

1・2・3 のカンタン監視システム !!

1 カメラ・電源等を接続する

⇒詳しくは、P10 をご覧ください。

2 SD メモリーカードを挿入する

⇒詳しくは、P11 をご覧ください。

3 電源スイッチを入れる

⇒電源スイッチ (P11 を確認) を押す。※

Start 動体検知録画がスタート !!

※電源を落とすときは、電源スイッチを長押しします。

梱包内容の確認

- レコーダー本体 (SDR-S10H)
- カラー監視カメラ (SEC-S10)
- 接続コード (20m)
- クリップ式取付金具
- スタンド式取付金具
- AC アダプター (本体用DC12V)
- AC アダプター (カメラ用DC9V)
- AV 入力ケーブル
- AV 出力ケーブル
- リモコン (テスト用電池付属)
- SD メモリーカード (2GB)
- 取付け用ねじ×3
- 樹脂アンカー×3

免責事項

■免責について

- ・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害 (事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など) に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は、一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など) に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断など) に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・商品の設置 (取付け・取外しなど) により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

■個人情報の保護について

- ・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。(その映像の開示・公開、

インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。) ※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

■著作権・肖像権についてのご注意

- ・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル (有償、無償を問わず) することは、法律により禁止されています。
- ・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

■輸出制限について

- ・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

■用途制限について

- ・本製品は、一般家庭・店舗用を意図として設計・製作されています。
- ・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
- ※ 高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

■商標および登録商標について

- miniSD™、microSD™ および Windows® は、登録商標です。また、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。(なお、本文中では「TM」「®」を明記していません。)

ご使用前にご確認ください

■使用電源について

- ・使用電源はAC100Vです。
- ・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

■ACアダプターについて

- ・付属のACアダプターは、本製品専用です。決して他の製品に使用したり、他の製品のACアダプターを本製品へ使用したりしないでください。

■使用場所について

- ・本製品は屋内専用です。また、以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- 厨房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- 水滴または水沫のかかる場所

- ・電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本製品の位置を変えてください。

■使用温度範囲について

- ・この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

■結露について

- ・故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は次のような場合です。目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

■SD (SDHC) メモリーカードについて

- ・本製品はSD規格に準拠したFAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード（以下、SDカード）、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。マルチメディアカードは使用できません。

- ・4GB以上のメモリーカードはSDHCロゴのあるSDHCメモリーカード（以下、SDカード）のみ使用できます。

- ・SDHCロゴのない4GB以上のメモリーカードはSD規格に準拠していないため使用できません。

- ・動画録画のため1GB以上のSDカードのご使用をおすすめします。

- ・miniSD™メモリーカード、microSD™メモリーカードでの使用は、正常な動作を行わない場合があります。

- ・SDカードのフォーマットは本製品で行ってください。パソコンなどの他の機器でフォーマットすると記録に時間がかかったり、本製品で使用できなくなる場合があります。

- ・データの書き込みを繰り返したSDカードをお使いの場合、録画可能時間が短くなることがあります。

- ・SDカードには書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にするとSDカードへの書き込みやデータの削除、フォーマットができなくなります。スイッチを戻すと可能になります。



- ・SDカードは消耗部品です。

■取り扱い上の注意

- ・SDカード裏の接続端子部分には触れないでください。またごみや水、異物を付着させないでください。

- 次のような場所に置かないでください。
 - 直射日光の当たるところ
 - 湿気やホコリの多いところ
 - 暖房器具、熱器具の近く
 - 温度差の激しいところ（露つきが発生する）
 - 静電気や電磁波が発生するところ

- ・カードアクセス中（録画、再生、削除、フォーマットなど）に以下の動作を行わないでください。SDカードやSDカードの内容が破壊されたり、本製品が正常に動作しなくなることがあります。

- SDカードを抜き差しする
- 電源を切る
- ACアダプターを外す

■大切な記録の保存について

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。また定期的に確認を行い、正常に録画されていることを確認してください。

- ・本製品を使用中、本機およびSDカードもしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、当社はその内容の補償についての一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

■SDカードを廃棄/譲渡するときのお願い

- ・本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカードを物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■動体検知機能について

- ・本機に搭載されている動体検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。

- ・以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、検出しすぎたり誤動作する場合があります。

- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない
- 夜間など、映像の輝度が低い
- 被写体の動きが遅い
- 被写体が小さい
- 屋外、窓際など光線状態が変わりやすい
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る
- 蛍光灯がちらつく
- 被写体に奥行きがある

- ・動体検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。

■長期間使用しない場合の対応について

- ・機能に支障をきたす場合がありますので、1週間に1回程度電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

■お手入れについて

- ・お手入れは電源を切ってから行ってください。
- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学ぞうきんをご使用にならないでください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

■その他

- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・フックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ・許容周囲温度を必ずお守りください。

安全上の注意 (必ずお守りください)

○ お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。	 注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
--	--

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	--

警告

-  **分解・修理・改造しない**
火災・感電の原因になります。⇒ 修理は販売店へご相談ください。
-  **機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない**
火災・感電の原因になります。⇒ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。
-  **電源コードやACアダプターのプラグを破損するようなことはしない**
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。⇒コードやACアダプターの修理は販売店にご相談ください。
-  **電源コードや接続コードを無理に引っ張ったり、ぶらさがったりしない**
電源コードが抜けることによる感電や、カメラの落下によるけがの原因になります。
-  **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100 V 以外での使用はしない**
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
-  **SDカードやコイン電池は、乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師へご相談ください。
-  **ACアダプターをぬらさない (ACアダプターは防水構造ではありません。)**
発火・感電の原因になります。⇒ぬらした場合は、ACアダプターに手を触れず、販売店にご相談ください。
-  **ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない**
感電の原因になります
-  **雷が鳴ったら本体・ACアダプター・電源コードに触れない**
感電の原因になります。
-  **煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは電源プラグを抜く**
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。⇒ 使用を中止し、販売店へご相談ください。



■ ACアダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
⇒ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。



■ ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。
⇒傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



■ ACアダプターは、付属または指定のものを使う
それ以外のものを使うと火災の原因になります。



■ コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電、ショート、発火の原因になります。

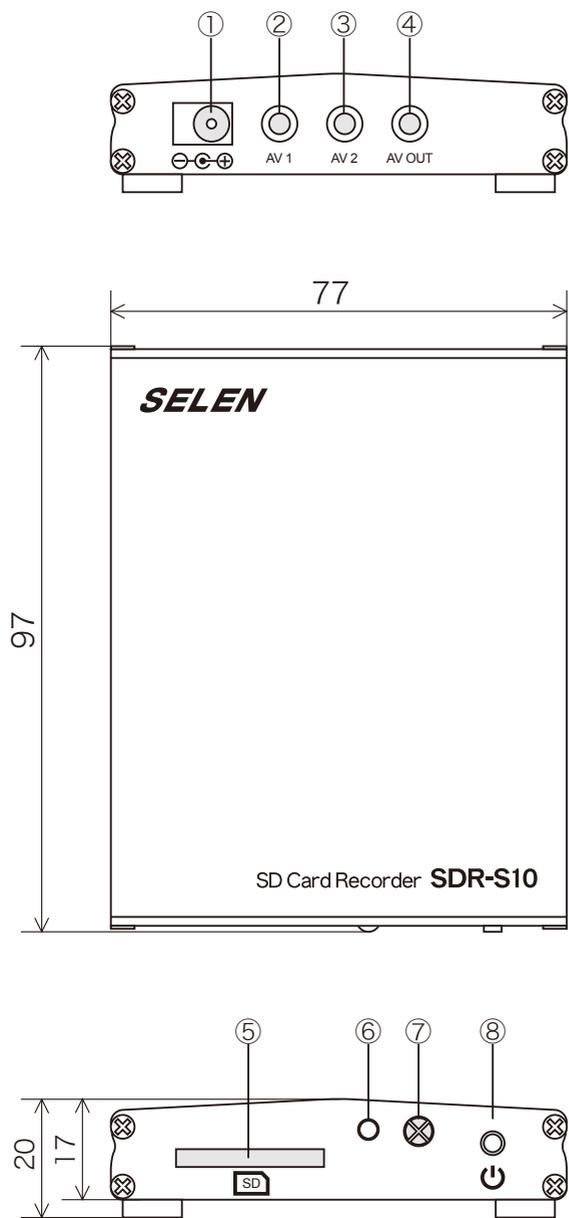


■ ACアダプターを抜き差しする場合はアダプター本体を持って抜き差しする
コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。

注意

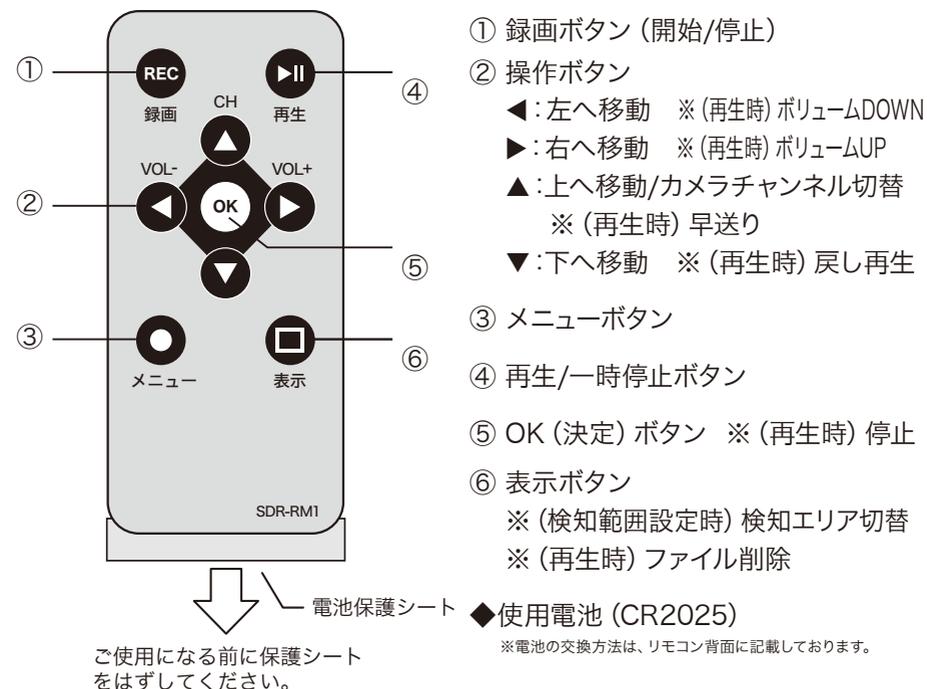
-  **火気を近づけない**
火災の原因になることがあります。
-  **湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **落下させたり強い振動・衝撃をあたえない**
けがや故障の原因になります。
-  **コネクター部に無理な力を加えない**
損傷や感電の原因になります
-  **コイン電池は誤った使い方をしない**
○【+】と【-】は逆に入れない。 ○ネックレスなどの金属物といっしょにしない
○加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺汚損の原因になることがあります。
-  **ACアダプターは、屋外では使わない (屋内専用になります。)**
ACアダプターは防水構造ではありません。
-  **長時間使用しないときや、お手入れするときは、ACアダプターをコンセントから抜く**
漏電・感電の原因になります。

各部の名称 (本体部)

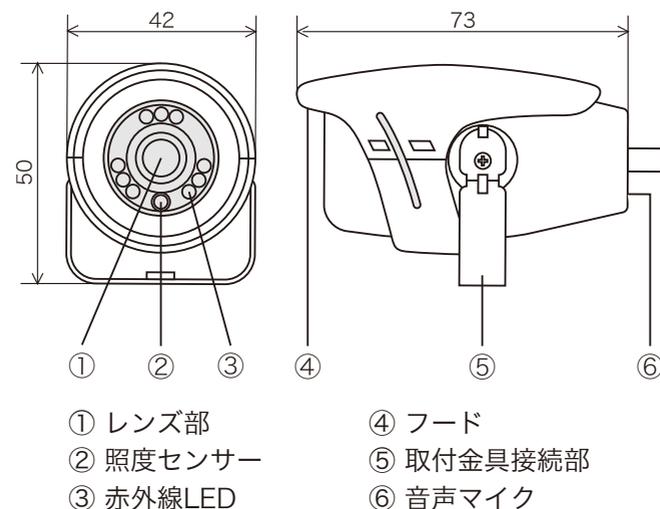


- ① ACアダプター差込口
- ② カメラ1 (CH1) 入力
- ③ カメラ2 (CH2) 入力
- ④ 映像・音声出力
- ⑤ SDカード差込口
- ⑥ LEDランプ
- ⑦ リモコン受光部
- ⑧ 電源スイッチ
※電源を切る時は、長押し。

各部の名称 (リモコン / カメラ部)



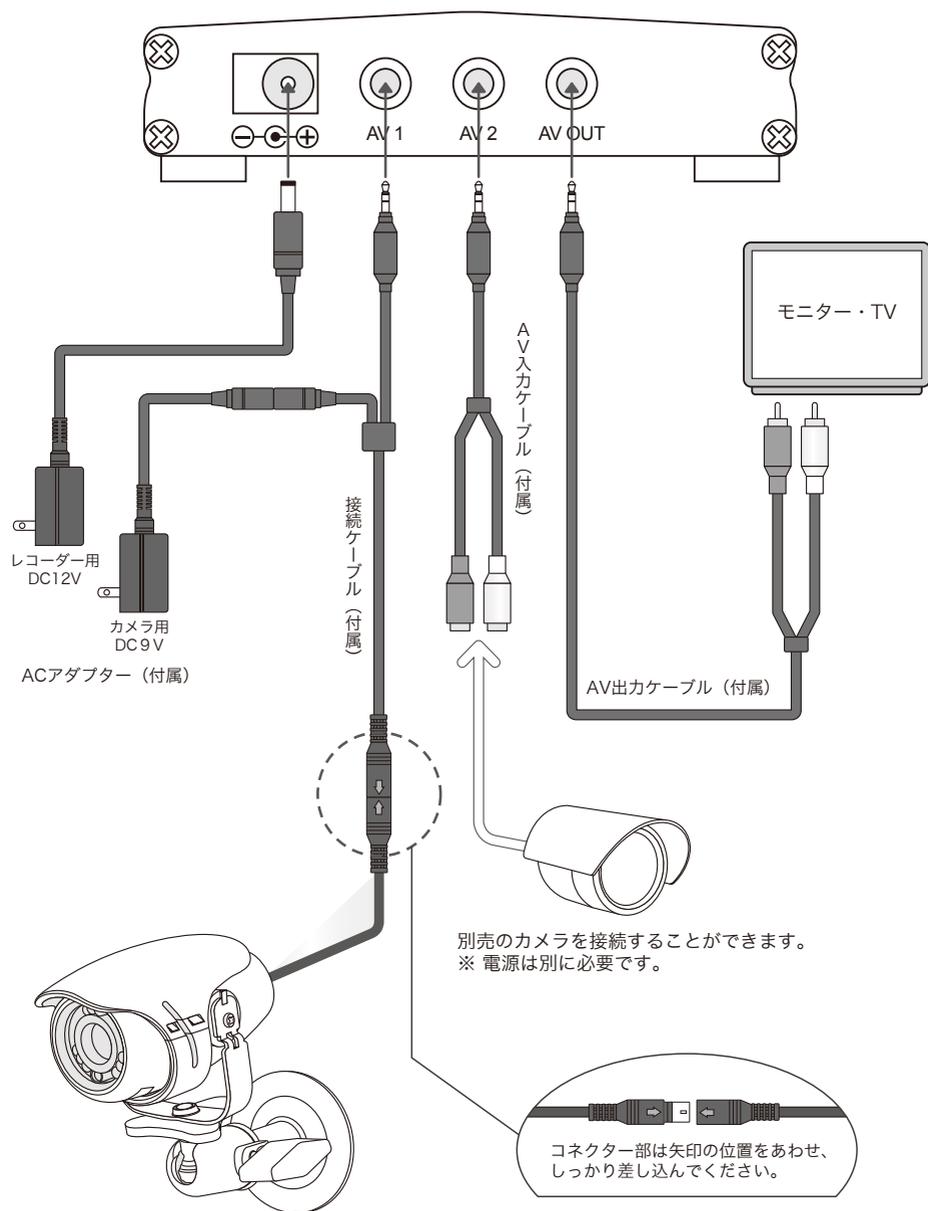
- ① 録画ボタン (開始/停止)
- ② 操作ボタン
◀: 左へ移動 ※ (再生時) ボリュームDOWN
▶: 右へ移動 ※ (再生時) ボリュームUP
▲: 上へ移動/カメラチャンネル切替
※ (再生時) 早送り
▼: 下へ移動 ※ (再生時) 戻し再生
- ③ メニューボタン
- ④ 再生/一時停止ボタン
- ⑤ OK (決定) ボタン ※ (再生時) 停止
- ⑥ 表示ボタン
※ (検知範囲設定時) 検知エリア切替
※ (再生時) ファイル削除



- ① レンズ部
- ② 照度センサー
- ③ 赤外線LED
- ④ フード
- ⑤ 取付金具接続部
- ⑥ 音声マイク

基本的な接続方法

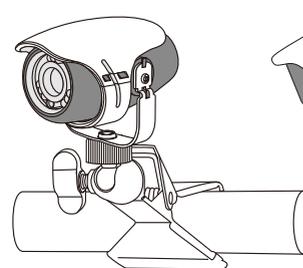
本体と監視カメラ、モニターなどを正しく接続してご使用ください。



付属カメラの取り付け方法

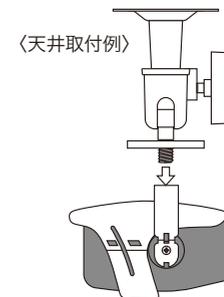
本製品には、2種類の取り付け金具が同梱されています。監視カメラを使用したい用途に合わせて、取り付けを行ってください。

クリップ式取り付け金具



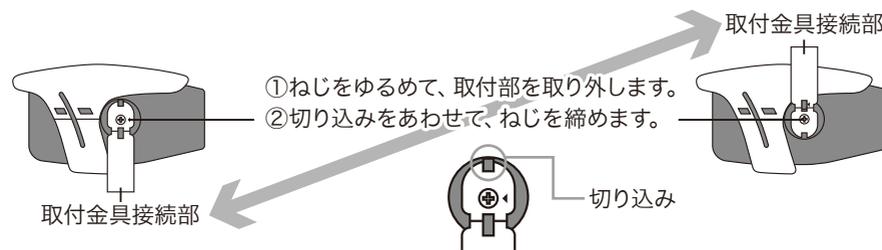
【注意】
クリップ式金具をご使用になる場合は、カメラが落下しないように、しっかりと固定できる場所に挟んでください。

スタンド式取り付け金具

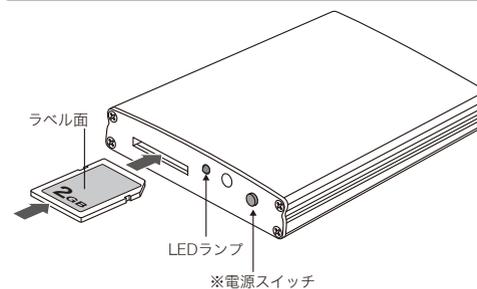


スタンド式取り付け金具を使用して、天井や壁面に取付けることができます。

カメラの「取付金具接続部」は、上下に付け替えることが可能です。



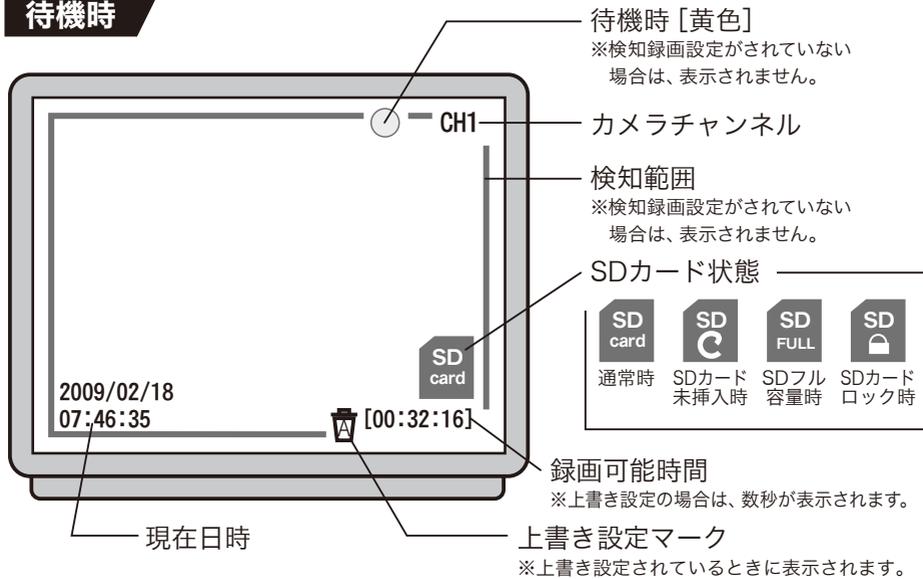
SDカードの挿入と取り出し方法



SDカードを本体のSDカード挿入口に挿入します。ラベル面を上にして、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。出すときはSDカードの中央部を一度押し込んで、まっすぐ引き抜いてください。

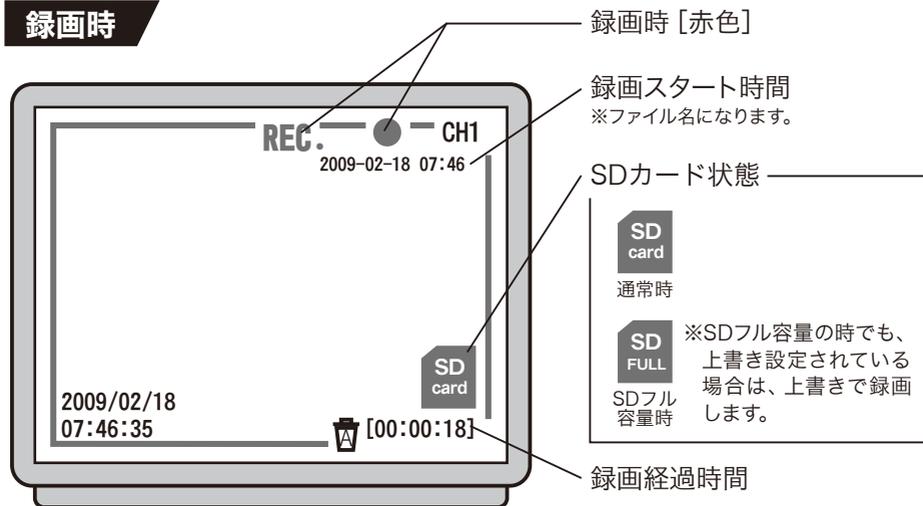
ライブ画面表示

待機時



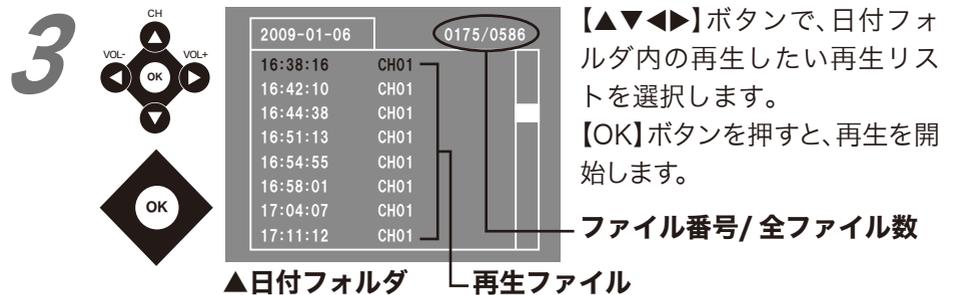
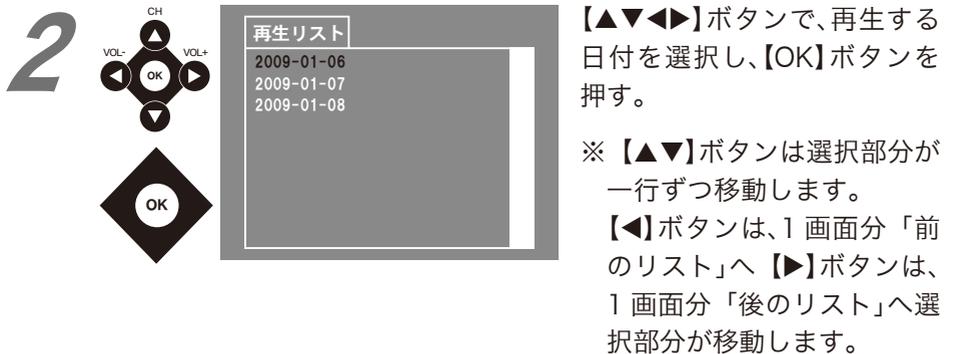
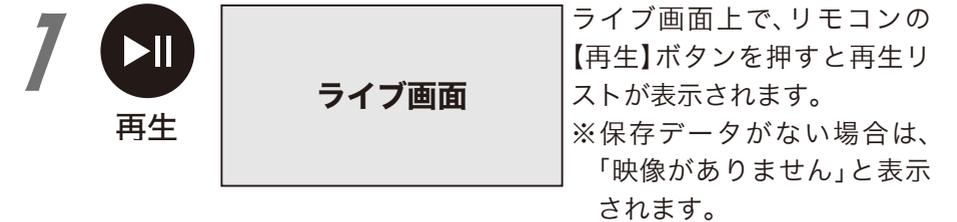
※待機時に【表示】ボタンを押すと、画面上のすべての表示がなくなります。再度【表示】ボタンを押すと、画面上にすべての表示がされます。

録画時



■ライブ画面からの再生方法

SD カードに保存された映像の再生をする場合、ライブ画面からダイレクトにリストを表示することができます。



再生中のリモコン操作方法は、次のページをご覧ください。

【再生リスト】から【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■再生中のリモコン操作方法

映像の再生が始まった後の、リモコン操作方法です。

 再生	一時停止/再生 押す度に、「一時停止」と再生を繰り返します。		停止 再生を停止して、日付フォルダに戻ります。
 CH 	早送り 映像を早送りします。 ※ボタンを押し続けて1ファイルの映像が最後まで早送りされた場合は、日付フォルダ内の次ファイルの再生が始まります。		戻し再生 映像を戻しながら再生します。 ※ボタンを押し続けて1ファイルの映像が最後まで戻し再生された場合は日付フォルダに戻ります。
 VOL-	ボリュームDOWN データに音声保存されている場合、ボリュームを小さくします。	 VOL+	ボリュームUP データに音声保存されている場合、ボリュームを大きくします。

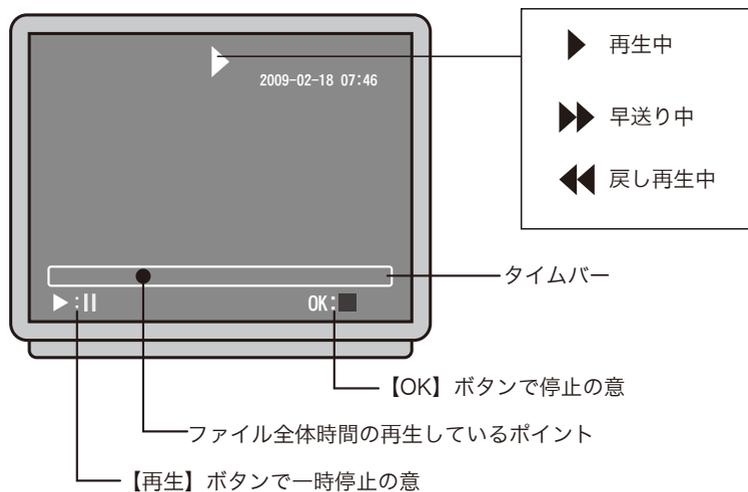
●再生について

ファイルを選択して再生すると、再生したファイル以降の（日付フォルダ内の）再生ファイルすべてを続けて再生します。日付フォルダ内の全ファイル再生が終わると、自動的に日付フォルダ画面に戻ります。 ※日付フォルダが異なる場合は、連続再生されません。

●再生ファイルについて

再生ファイルは、最長で1分になります。連続録画の際、再生ファイルは、1分毎の複数に分かれます。その際、ファイルとファイルの間で、2～3秒位の録画されない時間が生じます。

再生時の画面表示



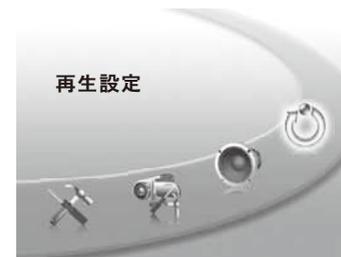
■メニュー画面の表示方法



ライブ画面から、【メニュー】ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
※選択中の項目は、画面左上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。
※はじめは、「システム設定」が表示されます。



【▲▼◀▶】ボタンで設定したい項目を画面上で選択してください。



【設定メニュー】



システム設定



録画設定



アラーム設定



再生設定

次ページへ続きます

3

【OK】ボタンを押すと各項目の設定画面が表示されます。
表示される画面は、次のようになります。

▼システム設定選択時



▼録画設定選択時



▼アラーム設定選択時



▼再生設定選択時



■メニュー画面からライブ画面に戻る

1



メニュー



メニュー画面から【メニュー】
ボタンを押す。

2



ライブ画面に戻ります。



ポイント

●録画中はメニュー画面に入れません。【録画】ボタンを押して録画を停止し、【メニュー】ボタンを押してください。

各項目の設定

■工場出荷値(初期の設定内容)と目次

設定項目		初期の設定内容	選択範囲など	目次	
システム設定	日時設定	—	—	P18	
	言語	日本語	日本語／英語	P19	
	上書き	ON (する)	ON (する) / OFF (しない)	P20	
	SDカードフォーマット	—	—	P21	
	初期化	—	—	P22	
	バージョン	—	—	P23	
録画設定	検知録画	ON (オン)	ON (オン) / OFF (オフ)	P24	
	検知設定	検知感度	4	1～8	P25
		検知範囲	全エリア (選択可能範囲内)	選択可能範囲内の1エリア	P26
	検知録画時間	10	10・20・30・40・50秒、1・2・3分	P28	
	録画フレーム	30	30 / 25 / 20 / 15 / 10	P29	
	予約録画設定	予約なし	予約なし / 日時予約 / 曜日予約 ※ 4件まで予約可能	P30	
	カメラ切替	OFF	OFF / 5 / 10 / 20 / 30秒	P32	
アラーム設定	オフ	オフ / オン	P33		
再生設定 (再生リスト)	—	—	P34		

■録画についての注意事項

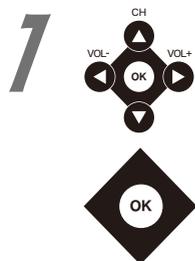
録画待機中に、【録画】ボタンを押すと、どの設定状態においても録画を開始します。
【録画】ボタンを再度押して停止するまで、連続録画状態を継続します。
また、録画中に【録画】ボタンを押すと「停止」になります。

■日時設定

システム設定

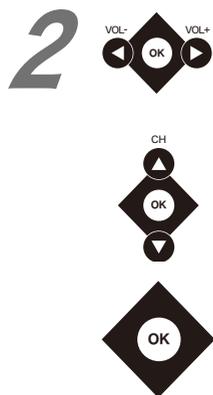
SDR-S10 の年月日、時間を設定します。

P15 の「メニュー画面の表示方法」を確認し、システム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「日時設定」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【◀▶】ボタンで、変更したい「年、月、日、時、分」それぞれの項目を選択し、【▲▼】ボタンで数字を変更してください。

日時を合わせ終わったら、【OK】ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。



- 時間には、若干の誤差が生じる場合があります。目安として1ヶ月に1回の時間合わせをおすすめします。
- 再生リストには、「秒」の単位まで表示されます。

[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

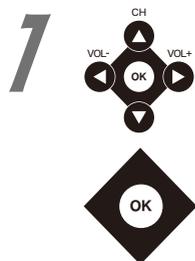
■言語

システム設定

表示を日本語と英語で切り替えることができます。

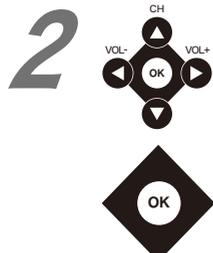
[工場出荷値：日本語]

P15 の「メニュー画面の表示方法」を確認し、システム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「言語」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼◀▶】ボタンで、変更したい言語を選択してください。【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

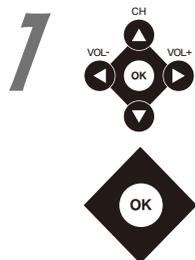
[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■上書き

システム設定

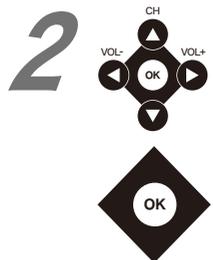
SDカードの使用率が100%になった時に、録画データを上書きするか、しないかを設定します。【工場出荷値：上書きする】

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、システム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「上書き」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼◀▶】ボタンで、[ON]、[OFF]を選択してください。

[ON] =上書きする
[OFF] =上書きしない

【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

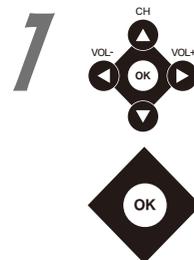
[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■(SDカード)フォーマット

システム設定

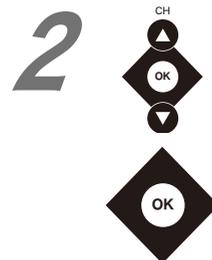
SDカードに保存されたデータをすべて消去する場合に使用します。
※使用開始時、同梱のSDカードは、フォーマット済みになっています。

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、システム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「フォーマット」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼】ボタンで、[はい]、[いいえ]を選択してください。

[はい] =フォーマットする
[いいえ] =フォーマットしない

[はい]を選択し【OK】ボタンを押すと、フォーマットを実行します。

フォーマットしない場合は [いいえ] を選択してください。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■初期化

システム設定

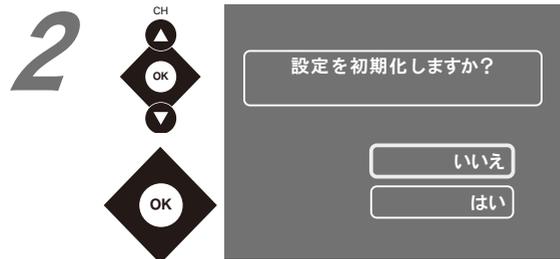
設定をすべて工場出荷状態に戻します。

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、システム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「初期化」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼】ボタンで、[はい]、[いいえ]を選択してください。

[はい] = 初期化する
[いいえ] = 初期化しない

[はい]を選択し【OK】ボタンを押すと、初期化を実行します。初期化しない場合は [いいえ] を選択してください。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。



●初期化した場合でも、日時およびSDカードの内容は初期化されません。

[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■バージョン

システム設定

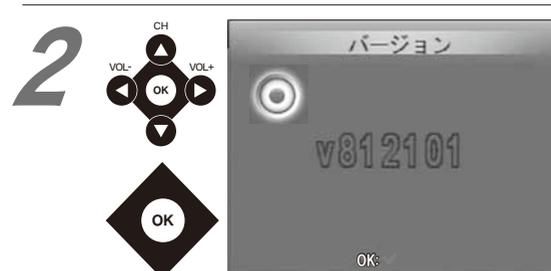
SDR-S10のバージョンを表示します。

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、システム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「バージョン」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



バージョンが表示されます。

【OK】ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■検知録画

録画設定

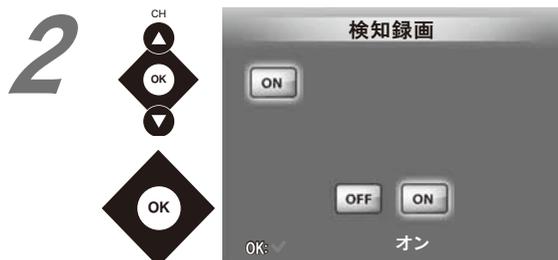
人の動き等を検知して録画するか、手動で録画または、予約録画するかを設定します。【工場出荷値：検知して録画する】

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「検知録画」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼】ボタンで、【ON】、【OFF】を選択してください。

【ON】 = 検知して録画する
【OFF】 = 手動で録画する場合
または、「予約録画設定」を使用する場合

【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



メニュー

途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

ポイント

●録画の設定内容は、「予約録画」設定が最優先されます。

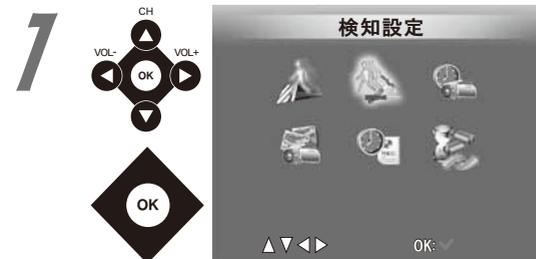
【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■検知設定 [検知感度]

録画設定

検知録画を行う際の、「検知する感度」を設定します。
【工場出荷値：4】

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「検知設定」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。

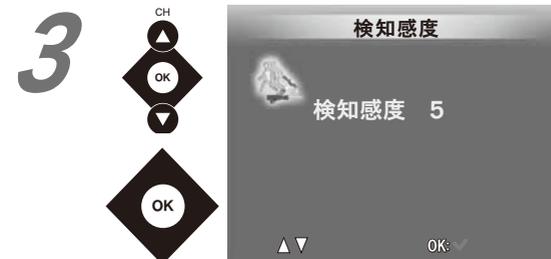


検知設定が表示されます。
【▲▼】ボタンで、【検知感度】を選択し、【OK】ボタンを押す。
※選択されている項目が黄色く表示されます。

検知感度の設定画面が表示されます。
【▲▼】ボタンで、検知感度の数値を変更し【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、検知設定画面に戻ります。

※検知感度は、1~8まで設定可能です。
数値が大きいほど感度がUPします。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



ポイント

●夜間において赤外線照射のノイズ等により検知の頻度が多く生じる場合は、検知感度の数値を下げてください。



メニュー

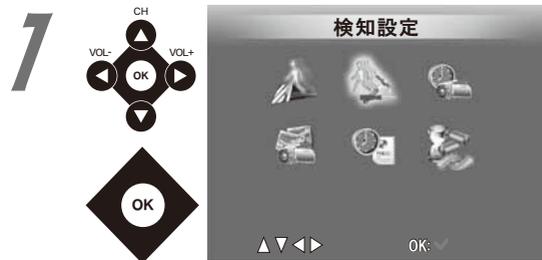
途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■検知設定 [検知範囲]

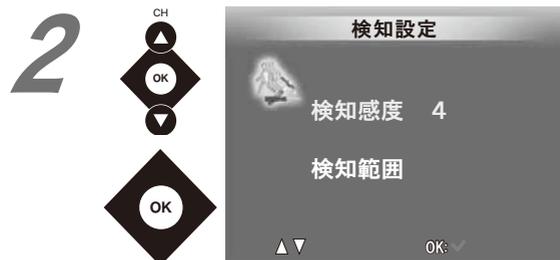
検知録画を行う際の、「検知する」映像の範囲を設定します。
[工場出荷値 : 全エリア (選択可能範囲内)]

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



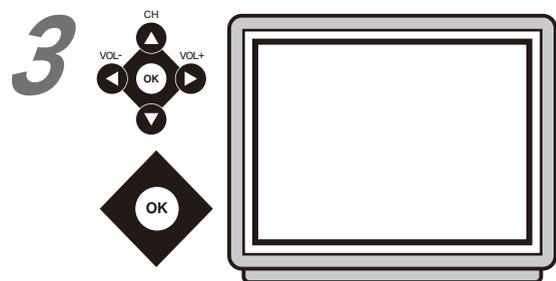
【▲▼◀▶】ボタンで、「検知設定」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



検知設定が表示されます。
【▲▼】ボタンで、[検知範囲]を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択されている項目が黄色く表示されます。



ライブ画面に赤い四角の枠がある画面が表示されます。赤い四角の枠の範囲が [検知範囲] です。

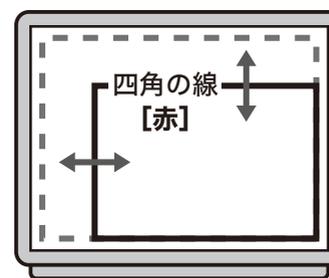


表示

【表示】ボタンを押す度に、四角の枠の色が [赤] ⇄ [黄] に切り替わります。

赤色 : 四角の枠の大きさを変更できます。
黄色 : 四角の枠の位置を移動できます。

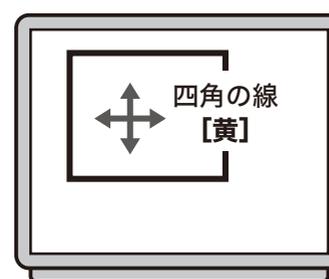
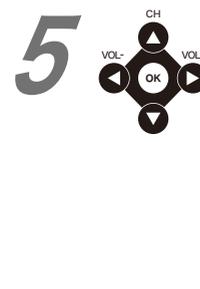
録画設定



四角の枠が**赤色**になっていることを確認し、【▲▼◀▶】ボタンで、四角の大きさ (検知する範囲の大きさ) を変更できます。

大きさを決めたら、【表示】ボタンを押す。

【▲▼】ボタン: 四角の**上辺**が**上下**に移動します。
【◀▶】ボタン: 四角の**左辺**が**左右**に移動します。



四角の枠が**黄色**になっていることを確認し、【▲▼◀▶】ボタンで、四角の位置を変更できます。

6 再度、四角の大きさ・位置 (検知する範囲) を変更する場合



表示

【表示】ボタンで四角の枠の色を切り替え、**4・5**に戻って変更を行ってください。

四角の枠の大きさ・位置 (検知範囲) を確定させる場合



【OK】ボタンを押す。検知設定画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



メニュー

途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■検知録画時間

録画設定

検知してから録画する時間を設定します。

[工場出荷値：10秒]

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「検知録画時間」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼】ボタンで、時間の長さを選択してください。

録画時間は[10・20・30・40・50秒、1・2・3分]で設定できます。

【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

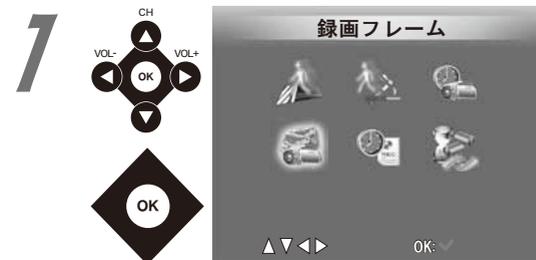
[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■録画フレーム

録画設定

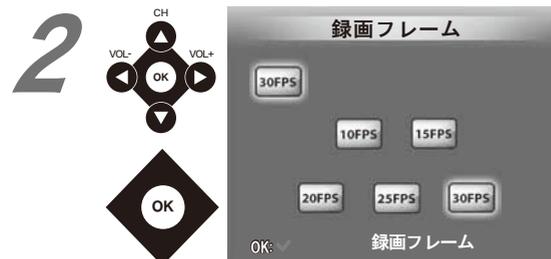
「録画フレーム」とは、1秒間に録画するコマの数のことで、この数が多いほど動きがスムーズな映像を録画することができます。

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「録画フレーム」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼◀▶】ボタンで、録画フレーム数を選択してください。

録画フレーム数は、[10FPS]～[30FPS]の間で5フレーム毎に設定できます。

【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。

録画フレーム数	30FPS	25FPS	20FPS	15FPS	10FPS
録画時間の目安 (SDカード：2GB)	70分	80分	100分	130分	190分

※録画時間は、あくまでも目安です。カメラ設置場所の環境や、入力する映像の色、明るさ、動き等で録画可能な時間が増減する場合があります。



途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

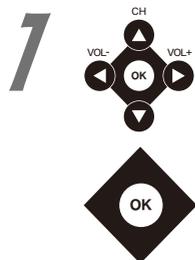
■予約録画設定

録画設定

録画の予約をすることができます。

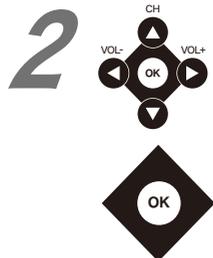
[工場出荷値：予約なし]

P15の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「予約録画時間」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼◀▶】ボタンで、設定を変更する項目を選択し、【OK】ボタンを押す。

※初期設定時は、4項目とも[予約なし]になっています。
※予約は、4つまで可能です。



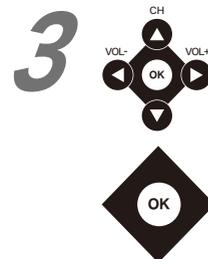
初期設定時は、[予約なし]が表示されます。【▲▼】ボタンを押す度に表示が切り変わります。

[日時予約] = 日時指定で録画する
[曜日予約] = 曜日と時間を指定して録画する

[予約なし] = 予約録画しない場合



録画設定



予約録画したい表示画面で、【◀▶】ボタンを押すと、上の丸数字の順または逆順に項目を選択を変更できます。選択されている数字上で、【▲▼】ボタンを押す度に数値を変更できます。情報を変更し終わったら、【OK】ボタンを押す。

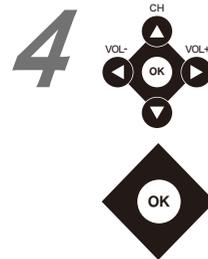


●日時予約①、曜日予約⑦の項目は、下記が選択できます。
[通常] = 予約した時間で録画する場合
[検知] = 予約した時間内に検知した時、録画する場合



メニュー

入力途中に【メニュー】ボタンを押した場合も、その時点で情報が確定されて4に進みます。



画面に予約された内容が表示されます。

続けて設定を行う場合は、再度3から設定を行ってください。

【メニュー】ボタンを2回押すと、メニュー画面に戻ります。



●「検知録画」設定が[ON]になっていると、予約設定した時間以外の時間帯は「検知録画」となります。



●録画ファイルは、最長で1分になります。連続した時間の予約は、1分毎の複数のファイルに分かれます。その際、ファイルとファイルの間で、1~2秒位の録画されない時間が生じます。

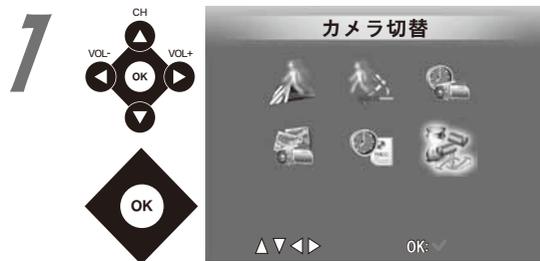
[ライブ画面]に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■カメラ切替

録画設定

SDR-S10 は、2 台のカメラを接続することができます。
2 台のカメラ表示を自動で切り替える際の時間を設定します。

P15 の「メニュー画面の表示方法」を確認し、録画設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、「カメラ切替」を選択し、【OK】ボタンを押す。

※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。



【▲▼】ボタンで、カメラを切り替える時間を選択してください。

[OFF] =自動切り替えなし
[5SEC] =5 秒毎に切り替え
[10SEC] =10 秒毎に切り替え
[20SEC] =20 秒毎に切り替え
[30SEC] =30 秒毎に切り替え

【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。

注意

- ◆録画中には、カメラは切り替わりません。
- ◆2 台のカメラを使用して録画する場合は、画面に表示されているカメラ側が録画されます。



メニュー

途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

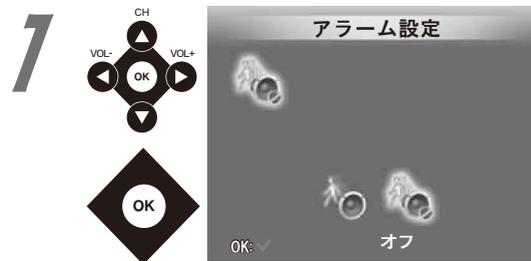
【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■アラーム設定

アラーム設定

「検知録画」開始時、アラーム音（約2 秒）を鳴らす、または鳴らさないを設定します。 [工場出荷値 :鳴らさない]

P15 の「メニュー画面の表示方法」を確認し、アラーム設定画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、[ON]、[OFF]を選択してください。
※選択中の項目は、画面上に内容が表示され、アイコンの周りが白くなります。

[OFF] =アラームを鳴らさない
[ON] =アラームを鳴らす

【OK】ボタンを押すと、変更が確定し、メニュー画面に戻ります。

※【OK】ボタンを押さないと、変更が確定されません。



メニュー

途中で変更をキャンセルする場合は、【メニュー】ボタンで前画面に戻ってください。

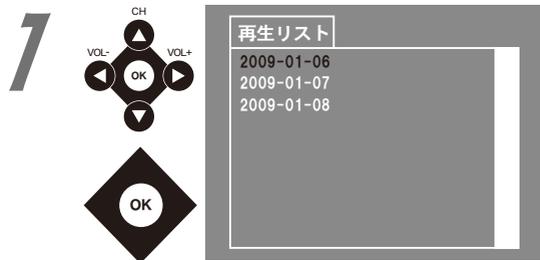
【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

■再生リスト

再生設定

SD カードに保存された映像を、メニュー画面からの操作で再生します。

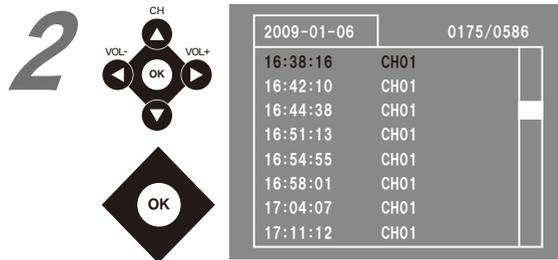
P15 の「メニュー画面の表示方法」を確認し、再生リスト画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、再生する日付を選択し、【OK】ボタンを押す。

※ 【▲▼】ボタンは選択部分が一行ずつ移動します。

【◀】ボタンは、1 画面分前のリストへ 【▶】ボタン1 画面分後のリストへ選択部分が移動します。



【▲▼◀▶】ボタンで、再生するリストを選択します。

【OK】ボタンを押すと、再生を開始します。

※ 同じ日付フォルダ内の映像は連続して再生されます。再生が終わると、自動的に日付フォルダのリスト画面に戻ります。

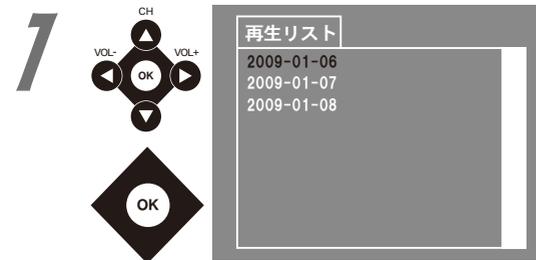
【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

◆再生リストの削除方法

再生設定

SD カードに保存された映像を、再生リストから選び削除します。

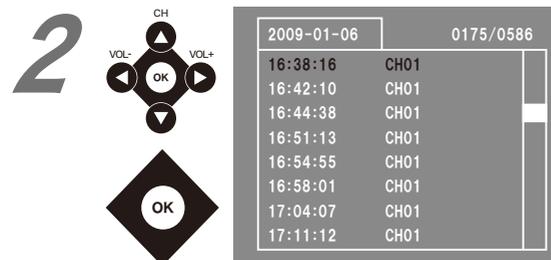
P15 の「メニュー画面の表示方法」を確認し、再生リスト画面を表示させてください。



【▲▼◀▶】ボタンで、削除する日付を選択し、【OK】ボタンを押す。

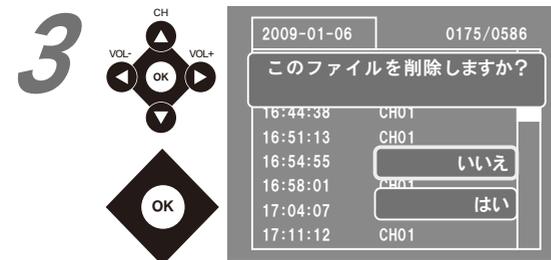
※ 【▲▼】ボタンは選択部分が一行ずつ移動します。

【◀】ボタンは、1 画面分前のリストへ 【▶】ボタン1 画面分後のリストへ選択部分が移動します。



【▲▼◀▶】ボタンで、削除するリストを選択します。

【表示】ボタンを押す。



削除の確認画面が表示されます。【▲▼】ボタンで、【はい】、【いいえ】選択して【OK】ボタンを押す。

【いいえ】 = 削除しない場合
【はい】 = 削除する場合

【はい】を選択し【OK】ボタンを押すと、削除を実行します。削除しない場合は【いいえ】を選択してください。

※ファイルは、1 ファイル毎に削除してください。

※日付フォルダ内のファイルがない場合のときにのみ、同様の操作で日付フォルダを削除することができます。

【ライブ画面】に戻る場合は、【メニュー】ボタンを数回押します。

MEMO

仕様

■ レコーダー本体 (SDR-S10H)

対応カード	SDメモリーカード:512MB、1GB、2GB (FAT16 形式に対応) SDHC メモリーカード :4GB、8GB、16GB (FAT32 形式に対応)
録画ファイル形式	Windows AVI 形式
録画解像度	640 × 480
入力	カメラ 2 系統 (映像・音声 φ 3.5 Jack)
出力	1 系統 (映像・音声 φ 3.5 Jack)
動作周囲温度	約 + 5°C ~ 約 + 40°C
電源	DC12V 専用 AC アダプターを使用
リモコン用電源	コイン電池 (CR2025)
消費電力	約 3W (最大)
外形寸法	幅 77mm × 高さ 17mm × 奥行き 97mm (突起物含まず)
本体質量	約 120g (SD カード含まず)

■ カラー監視カメラ (SEC-S10)

撮像素子	1 / 3 カラー CMOS
有効画素数	25 万画素
水平解像度	380 本
最低被写体照度	通常時約 1 ルクス (赤外線投光 OFF 時)
レンズ	3.6mm / F
水平画角	約 56°
電子シャッター	1/60 ~ 1/100,000
動作周囲温度	約 0°C ~ 約 + 40°C
電源	DC9V 専用 AC アダプターを使用
消費電力	通常時 約 1W / 赤外線投光時 約 1.5W
外形寸法	幅 42mm × 高さ 50mm × 奥行き 73mm (突起物含まず)
本体質量	約 55g (コード部含まず)



株式会社セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 1-11-6 相馬ビル

Tell : 03-5911-1045

Fax : 03-5911-1046

E-mail : info@selenguard.com

URL : <http://www.selenguard.com>